

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	日常的な保守点検や、台風などの自然災害による損害の修繕を適切かつ迅速に行っている。
	財務の状況	○	計画と実績に差異は生じているが、特に問題がない。
事業効果	事業の実施状況	◎	充実した資料収集が行われている。 常設展・特別展ともに魅力あるテーマで実施している。 ソウル歴史博物館との交流展「18世紀ソウルの日常」を実現した。
	運営の実施状況	◎	適切な運営がなされている。 ICOM京都大会での発表や日中韓博物館国際シンポジウムの開催などを通じて、国際的な連携・協力関係が築かれている。
	施設サービスの実施状況	○	バリアフリー化への努力など、適切な施設改修等が行われている。
方針と目標の達成状況		○	展示の多様さと充実度が、江戸・東京の魅力を十分に伝えるものであることが評価できる。

[評価基準]各項目の評価

◎=「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○=「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△=「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

二次評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	江戸・東京の多様な魅力発信に向け、様々な企画による充実したコンテンツにより事業を展開している。 ソウル歴史博物館との交流展を実施し、日韓の文化交流の発展に寄与した。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	多様な事業展開に見合う、より充実した広報が望まれる。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理と改善の努力を行っている。
	財務の状況	○	支援会員数は若干減少傾向にあるものの、会費収入は堅調である。
事業効果	事業の実施状況	◎	企画力が非常に高く、多彩な切り口の展覧会を開催しており、幅広い層への訴求を心がけることで、観覧者数等の結果につなげている。 作品修復・保存活動は特に評価される。
	運営の実施状況	○	適切な運営がなされている。 広報について、魅力ある媒体により広範囲に展開されている。
	施設サービスの実施状況	○	バリアフリーやホスピタリティの向上のための努力が行われている。
方針と目標の達成状況		○	おおよその定量目標を達成しており、企画力の高さは評価できる。

【評価基準】各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

二次評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	利用者の幅を広げる努力を積極的に行い、多彩な企画を用意することで結果に結びつけた。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	利用者層を想定した事業展開について、引き続き検討と実施を続けていただきたい。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	適切に管理を行い、セキュリティ強化にも取り組んだ。
	財務の状況	◎	パスポートやセット券販売、ユニークメニューの貸出が収支に貢献している。
事業効果	事業の実施状況	◎	魅力や話題性のある企画展・常設展を開催し、利用者の実績にもつなげている。ワークショップなど多様なプログラムを展開し、積極的に美術館に親しむきっかけづくりを行っている。
	運営の実施状況	○	適切な運営がなされている。東京2020公式アートポスター展を実施し、大会の機運醸成に貢献した。リニューアルに併せた広報活動が積極的に行われた。
	施設サービスの実施状況	○	バリアフリーへの様々な取組など、適切な実施と改善の努力を行っている。
方針と目標の達成状況		○	入場者数を十分に確保して目標を達成している。事業計画に基づいて適切に館が運営されている。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

二次評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	リニューアル初年度として、装いも新たに魅力的な事業を展開した。館内サービスの充実など様々な取組により優れた実績をあげた。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	ホームページのデザインや記載内容について、利用者目線に立ったさらなる工夫が望まれる。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	適切に管理されている。オリンピックなどの開催も視野に入れながら、適切な危機管理がなされている。
	財務の状況	○	目標の収益を実現するなど、特に問題はない。
事業効果	事業の実施状況	◎	注目される共催大規模展示と工夫した自主企画展示を行っている。 写真美術館など他の都立文化施設の収蔵品の活用は重要な取組みで評価できる。
	運営の実施状況	○	適切な運営が行われている。夜間開館や近隣施設との連携が効果的に行われている。
	施設サービスの実施状況	○	適切に行われている。 トラブル発生時の対処とその経験を今後の館運営に適切に活かしていくことが望まれる。
方針と目標の達成状況		○	方針通りに運営され、着実に目標を達成している。

【評価基準】 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

二次評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	館外組織との共催による特別展、自主企画展、公募展等がバランスよく実施されている。 アートコミュニケーション事業において、ノウハウなどを地域的にも国際的にも広げていくよう努めている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	お客様対応についてさらに検討改善を図りたい。 事業運営のあり方を再考する時期に来ている。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度

項目		評価内容	
二次評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	危機管理への対応訓練の実施、また一時滞在施設としての対応など高く評価できる。
	財務の状況	◎	助成金・協賛金について積極的に活用している。
事業効果	事業の実施状況	◎	「オペラ夏の祭典」では、新国立劇場と連携し質の高い公演を実現するとともに、多くの動員数を獲得した。東京音楽コンクールでは、公開審査の入場者数が過去最高を記録し高い注目を集めた。幅広い層に向けた音楽ワークショップやアウトリーチコンサートなどを積極的に実施した。
	運営の実施状況	○	「文化の杜の音めぐり」事業における他の文化施設との連携など、上野地域の文化施設の中で重要な役割を果たしている。ユーザビリティの高いホームページの運用や、SNSでの積極的な情報発信のほか、「オペラ夏の祭典」に合わせてJR上野駅の発車メロディを変更するなど、効果的な広報を実施している。
	施設サービスの実施状況	◎	歴史的建築として制約のある中で、転倒防止対策として客席内に手すりを増設したり、トイレの音声案内の多言語化を行うなど、バリアフリー向上に適切に取り組んでいる。
方針と目標の達成状況		◎	創造発信事業をはじめ上野地域や他館との連携、高齢者施設や特別支援学校を含めた都内広域でのワークショップやアウトリーチの実施、高い施設稼働率など、定量・定性目標ともに高い水準で達成している。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

二次評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	オペラなど国内で最も質の高い鑑賞機会を提供できている。さらに、都内広域を対象としたワークショップやアウトリーチの実施について、ファシリテーター育成も含めて広がりを見せてきている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	施設の老朽化に鑑み、より一層安全・安心に留意した日常的な管理が求められる。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度

項目		評価内容	
二次評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	音声付き点字案内板の設置などのバリアフリー化の実施、安全作業管理の徹底など適切に行われている。
	財務の状況	○	助成金・協賛金について引き続き活用できている。
事業効果	事業の実施状況	◎	舞台芸術事業において、読売演劇大賞に選ばれた「Q」など質の高い公演を実施した。 音楽事業では、「ボンクリ・フェス2019」「NEO-SYMPHONIC JAZZ at芸劇」など、芸術劇場の特異性をよく体現しているものとして、高く評価したい。
	運営の実施状況	◎	豊島区が実施する「東アジア文化都市」事業や池袋西口公園の整備に積極的に協力するなど、地域の重要なアクターとしての役割を果たしている。
	施設サービスの実施状況	○	演劇公演での音声ガイドや音楽公演でのボディソニックなど、多くのバリアフリー化に向けた取り組みにより利用者への配慮がなされている。 レストランやショップは、音楽や舞台芸術に関心の低い方々が劇場に足を運びきっかけづくりにもなっている。
方針と目標の達成状況		◎	「ミッション」及び「基本方針」に基づいて、高い水準で事業の運営が行われている。 特に、障害のある方向けのワークショップを通年で複数実施するなど、社会包摂事業に積極的に取り組んでいる。

【評価基準】各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

二次評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	音楽、舞台芸術ともにバランスよく質の高い事業が行われている。海外及び国内の劇場との連携も積極的に実施されている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	引き続き収支のバランスを踏まえた事業運営を行うよう配慮する必要がある。